

令和3年
伊豆市議会3月定例会

一般質問

令和3年3月

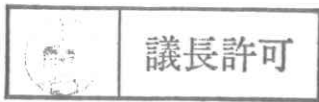
令和3年伊豆市議会3月定例会一般質問者と質問事項

3月12日（金）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	7 杉山 武司	1 伊豆市の財政シミュレーションについて	市 長	1
		2 メガソーラー発電施設建設の対応について	市 長	3
2	3 鈴木 優治	1 新型コロナウイルスの対応について	市 長	5
		2 新中学校整備事業について	市 長 教育長	
3	9 鈴木 正人	1 将来世代に継承する「共生社会」の実現を進めるために	市 長 教育長	7
4	5 黒須 淳美	1 新ごみ処理施設の稼働に向けて	市 長	10
5	14 三田 忠男	1 伊豆市民が、安心して安全にコロナワクチンを接種できる体制整備について	市 長	12
		2 伊豆市の公共施設の在り方と再配置推進時の市民・当事者意見の反映について	市 長	

3月15日（月）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
6	4 飯田 大	1 牧之郷地区計画の進捗状況について	市 長	14
7	16 杉山 誠	1 コロナ禍後の社会の変化と地方創生	市 長 教育長	15
		2 多様性認めあう社会へ、性的少数者への理解促進	市 長 教育長	16
8	8 星谷 和馬	1 修善寺老人憩いの家	市 長	17
9	11 波多野靖明	1 生徒も教員も共に向上する教育を目指して	市 長 教育長	18
		2 学校のトイレの全個室化について	教育長	19
		3 伊豆市デジタル図書館について	教育長	
10	2 浅田 藤二	1 地域づくりについて	市 長	20



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元3年2月24日

伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉山武司

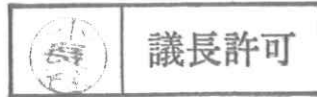
No. 1

発言の種別 (○で囲む)		○一般質問・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 伊豆市の財政シミュレーションについて。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済は大きな打撃を受け、その結果地方自治体の税収は大幅に落ち込んでいます。</p> <p>コロナ禍の中で、令和3年度の財源不足は全国で10兆円を超えるとも言われ、各自治体は感染症と経済の二つの対策に対し厳しい財政運営が求められています。多くの自治体は財源不足を補うため、様々な事業や政策の見直しに取り組んでいます。</p> <p>熱海市では新規の公共施設建設事業は先送りや凍結を図り、埼玉県新座市は令和3年度に市の貯金である財政調整基金を全額取り崩しても25億円が不足するとして、「財政非常事態宣言」を発令し約3億円の事業を廃止し、聖域と言われる人件費や社会福祉にもメスを入れる模様です。大阪府堺市においても、市民サービスが維持できなくなる懸念があるとして、「財政危機宣言」を発し、人件費の抑制を始めとして、公共施設や外部団体の見直し、更には補助金等も見直しを進めようとしています。愛知県岡崎市や兵庫県丹波市では財源不足により市長選の公約「全市民に5万円」が消えました。</p> <p>更に、2月15日裾野市が、「財政非常事態」を宣言しました。財政能力指数は0.99と県下で5番目に</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>高い評価がありましたので驚きです。近年は財政調整基金に頼った財政運営が続いていたとされています。</p> <p>全国の地方自治体においても、令和3年以後に同様なことが予想されます。</p> <p>伊豆市では平成30年3月に中長期的な視点を目的に計画的な財政運営を行うとして「伊豆市財政シミュレーション」を策定しました。その後、平成30年4月の法改正によって合併特例債の発行可能期間が5年間延長されたことを受け、令和元年11月に事業計画の変更などを盛り込んだ見直しを行いました。</p> <p>しかし、現在の状況下において「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の時代を見据えたとき、現行の伊豆市の財政シミュレーションでは将来的な財政収支の傾向や財政的な特徴を示すには厳しいものがあると考えます。</p> <p>以上を踏まえ以下の点について伺います。</p> <p>① 現行の財政シミュレーションによると財政調整基金は40億円前後を推移していますが、実際は災害と感染症対策で基金は平成30年度末から残高減少が顕著です。<u>基金の今後の残高予測と将来に亘る影響について伺います。</u></p> <p>② <u>コロナ禍の影響による財政の危機管理をどのように把握しているのか伺います。</u></p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2 メガソーラー 発電施設建設 の対応につい て</p>	<p>③ <u>ウィズコロナは何年も続くと思われま</u>す。コロナの影響を加味すると、シミュレーションの中身も変化すると思いますが、<u>財政シミュレーションの再見直しは考えられますか。</u></p> <p>④ <u>令和3年度以後の伊豆市の目指すべき財政の姿</u>をお示してください。</p> <p>環境意識の高まりや国の再生可能エネルギー推進施策により、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電施設は全国的に設置件数が増加しており、市内においても特に太陽光発電設備の設置が進んでいます。</p> <p>その一方で、設備の設置に伴う大規模な森林伐採による景観の阻害、土砂災害の発生、動植物の生息環境への影響等が懸念されるとともに、鉛やセレン・カドミウムといった有害物質を含む太陽光パネルが耐用年数を経過した時の、将来的な廃棄経費を確保していない事業者は約60%にも上ります。加えて環境や生活権で事業者と地域住民の間でトラブルが全国各地で多発しています。</p> <p>世界的な潮流である脱炭素社会を目標とした環境意識の高まりと相まって、国の再生可能エネルギー推進施策はより一層進展拡充するものと考えられます。</p> <p>伊豆市の美しい景観、豊かな自然環境及び市民の安全・安心な生活環境の保全を維持するために為すべきことは成さねばなりません。</p> <p>伊豆市では平成30年6月定例会において「伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」の議案上程がなされ、所管の第一委員</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>会で議論を経て6月28日本会議最終日に賛成多数で可決され、10月1日から施行されました。</p> <p>しかし、この条例は自然環境と発電事業の調和を目的としたもので、すべての区域について発電事業の抑制をするものではありません。よってゴルフ場等の林地開発を得ている土地には適用されません。</p> <p>過日伊豆スカイラインカントリークラブ敷地内に大規模な太陽光発電施設について近隣住民から行政や議会に嘆願書が提出されました。</p> <p>伊豆市内には9ヶ所のゴルフ場が点在しています。近年ゴルフ人口の減少によりゴルフ場経営は厳しくなっており、今後他のゴルフ場敷地への太陽光発電等に土地利用転換する可能性も想定されることに鑑み、無秩序な土地利用の抑制を図る必要があります。</p> <p>以上を踏まえ以下の点について伺います。</p> <p>① <u>伊豆スカイラインカントリーゴルフ場敷地で計画されている太陽光発電施設を阻む手立てはどのようなことが考えられるのか</u>伺います。</p> <p>② <u>伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の抑制区域にゴルフ場敷地等のレクリエーション施設を加えることはできますか。</u></p> <p>③ <u>その他、環境や土地利用等に関する条例の改正で考えられる大規模な太陽光発電施設の抑制対策を</u>伺います。</p>	



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 2月26日

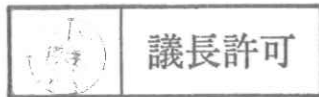
伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 鈴木優治

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
新型コロナウイルスの対応について	<p>感染収束の決め手となるワクチン接種、先行接種が始まり優先接種、4月からは65歳以上の接種も計画される中行政の役割が問われていると思います。以下の提案と質問をいたします。</p> <p>(1) 行政の首長として市民の不安を払拭する為に<u>ステートメントを出すつもりはありませんか。</u>市民への勧奨、ワクチン接種のメリット、デメリット、ワクチン接種後の感染予防の確認、等々。</p> <p>(2) 今日現在想定しているワクチン接種の<u>ロードマップ</u> (期日、会場、方法、体制の整備、接種の医療従事者の確保、副反応の対応、等々) をお示し下さい。</p> <p>(3) またワクチン接種の<u>シュミレーション</u>はされたのかもしくはこれからなのか。<u>その中で問題点はあったのかなかったのか伺います。</u></p>	市長
新中学校整備事業について	<p>令和2年12月7日議会全員協議会に提出された新中学校整備計画 市民説明会 実施案、および令和2年12月17日議会決議、伊豆市新中学校の着実な建設を求める決議を受け1月18日加殿区、1月22日日本立野区、1月28日小立野区、2月1日日向区、2月18日田代区、2月20日大平区の6地区において新中学校近隣地区説明会が行われた。地元のある区から地元議員として議会での説明と各地区での説明の整合性を検証すべきだとの指摘を受け</p>	市長、教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>加殿区以外の 5 地区の説明会に出席させていただきました。①周辺関係地区への説明が終わりひと段落のなか以降の②その他の市民への説明③保護者への説明とある訳ですが以下の件を伺います。</p> <p>(1) ①を終了しての感想、手ごたえを伺います。</p> <p>(2) 提案ですが機運の醸成の効果として新中学校ではなく具体的校名（例えば；伊豆市立伊豆中学校）の設定、校歌の作成などはいかがでしょうか。どのように考えますか。</p> <p>(3) 基本設計の段階と思いますが、配置検討図を見ると体育館はバレーボールコート 2 面程度の広さと見えますが新中学校が目指すもののなかで言われている災害時の避難所の機能等の意味では現在の広さの倍のバレーボールコート 4 面程度は必要ではないかと思いますがお答え下さい。</p> <p>(4) 行政にはなじまないかもしれませんがプロジェクトチームを立ち上げる予定はないのか伺います。 (新中学校整備事業は交通、道路、防災、新公園等係る分野が多岐にわたること。)</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和3年2月26日

伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 鈴木 正人

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		
		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
将来世代に継承する「共生社会」の実現を進めるために	<p>「世界経済フォーラム (WEF)」は 2019 年 12 月、「ジェンダーギャップ指数 2020」の中で、各国における男女格差を測る指数として、ジェンダーギャップ指数 (Gender Gap Index : GGI) を発表しました。</p> <p>この指数は、WEF が 2006 年から毎年公表しており、経済、政治、教育、健康の 4 つの分野のデータから作成され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を示しています。つまり、「1」に近いほど「ジェンダー平等」の環境が進んでいるということになります。</p> <p>2020 年の日本の総合スコアは「0.652」、順位は 153 カ国中「121 位」で、前年の 110 位からランクダウンし、改めて我が国のジェンダーギャップの遅れが浮き彫りとなる結果となりました。</p> <p>更にいま、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の会長交代劇の発端となった、前会長の「会議に女性が多いと時間がかかる」との国内外から大きな批判を浴びた女性蔑視発言をきっかけにして、改めて「東京 2020 大会」のビジョンに掲げられた「多様性と調和」に示される「ジェンダー平等」の理念を尊重し直すことに国民の関心が高まっています。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>これまでの「ジェンダー格差」の是正の取組みは、男女が互いに人権を尊重しつつ、能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、国が1999（平成11）年に、「男女共同参画社会基本法」を制定、2016（平成28）年には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」を施行し、伊豆市においても、これらの法律に基づいて、平成18年度に『伊豆市男女共同参画プラン』を策定し、5年ごとの見直しを重ねて、現在も取り組んでいるものと理解しています。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>① <u>「伊豆市男女共同参画プラン 2016—2020」に示された「18」の指標の各担当課の達成状況</u></p> <p>② <u>重点目標5 「政策・方針決定過程への参加の促進」における、審議会・委員会などへの女性委員の登用の推進の成果（占有率など）はどうか。</u></p> <p>③ <u>学校における男女共同参画の教育の取組状況</u></p> <p>④ <u>ここまでの取組みの課題整理の状況</u></p> <p>また、今定例会の初日、市長は施政方針演説の「IV 東京2020大会に対する取組」の中で、「大会終了後も、『レガシーを継承するための取組』として、「オリンピック・パラリンピック競技会場の聖地化」と「自転車を活用したまちづくり」に取り組みます。」と述べられました。</p> <p>無論、将来世代へこの100年に一度の大イベントの記憶を受け継ぐ為には必要なことであると理解し、必ずしもこれを否定するものではありません。</p> <p>一方で、オリンピック憲章「オリンピズムの根本原則第6項」にはこう謳われています。</p>	<p>市 長 教 育 長</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>「このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会的な出身、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。」</p> <p>私は、この「人権の尊重」、「多様性 (ダイバーシティ) の尊重」といった理念を将来世代に遺していくことも不可欠であると考えます。</p> <p><u>その為に、東京 2020 大会の「レガシー」として、そしてまた男女共同参画社会の更なる推進や、多様性を受け入れて尊重する「共生社会」の実現を着実に進めるために、これらの理念を包括的に規定する条例の制定に取り組む考えはあるのか、その見解を伺います。</u></p>	市 長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3 年 2 月 26 日

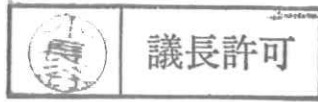
伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 黒須淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		
		○ <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 新ごみ処理施設の稼働に向けて	<p>R4年12月に完成する新焼却場について伺います。この施設は、今から16年前の平成17年(2005年)年9月に「伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合」の設立準備会が設立され、その後様々な紆余曲折を経て、7年前の平成26年(2014年)12月にやっと施設建設地として伊豆市佐野地区が決定されました。</p> <p>その翌年平成27年4月には「伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合」が正式に設立され現在に至っています。</p> <p>私は昨年11月からこの組合議員となりましたが、正直それまではゴミの分別について「地球環境を守るために必要」なことと理解していても日常的には「大変だなあ」と思ったり「他の市町では分別せずに燃やしている所もあるのに」と感じることも多く、実際私の周りでもそう言う声をよく聞いていました。</p> <p>施設建設について平成29年12月から「新ごみ処理施設建設計画」という施設組合から発行された広報紙が、令和元年10月まで計6回配布されました。掲載された内容は主に5つあり「事業方針」「基本方針」「設計・建設費」「処理方式」そして「処理対象物」など施設に関する具体的な説明が市民の元に届けられることになり有効な手立てとして良かったと記憶しています。</p> <p>この新ごみ処理施設の完成が来年12月に迫っている中、市民にその後どのように進んでいるかなど広報紙等を用いて知らせる必要があると思います。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>またこの最新の技術を生かした新ごみ処理施設について市民が得られる具体的なメリットも示していく必要性があると感じ以下について伺います。</p> <p>(1) <u>令和4年12月の完成に向け市民への広報を定期的かつ計画的に実施していくことが必要と思いますが、こちらはどのように考えていますか。</u></p> <p>(2) <u>住みやすさ生活のしやすさ等、市民生活の向上とメリットは何ですか。</u></p> <p>(3) <u>他市町からの移住者、特に都市部からの方でも抵抗なく利用できる配慮はありますか。</u></p> <p>(4) <u>旧施設の運用について新リサイクルセンターの計画が進められておりますが、市民の意見や要望を取り入れることはできますか。</u></p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年2月22日

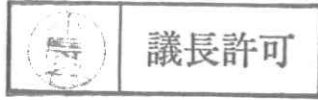
伊豆市議会議長 小長谷順二様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆市民が、安心して安全にコロナワクチンを接種できる体制整備について	<p>コロナワクチンの接種体制の情報が、各種情報媒体から政府の対応の変動に伴い、様々に流れてきますが、伊豆市としてはどうなっているのか。と市民からの問い合わせがあります。</p> <p>そこで、現時点での伊豆市の方針と課題について以下の点について伺います。</p> <p>(1) <u>現時点での伊豆市のコロナワクチン接種体制の基本方針と体制整備について</u></p> <p>(2) <u>集団接種になじまない個別に配慮を要する市民への個別支援計画があるか伺います。</u></p> <p>(3) <u>市民の接種率向上への奨励策の検討状況について等</u></p> <p>(4) <u>義務教育現場での体制整備の現状と課題</u></p>	市長
2. 伊豆市の公共施設の在り方と再配置推進時の市民・当事者意見の反映について	<p>伊豆市が将来にわたり、持続可能な市民生活の安定的な暮らしを守るためには、伊豆市を取り巻く環境への適応が無いと成り立たなくなると考えます。平成29年3月策定「伊豆市公共施設等総合管理計画」平成31年3月策定「伊豆市公共施設再配置基本方針」をもとに以下伺います。</p> <p>(1) <u>策定目的を伺います。</u></p> <p>(2) <u>市民の意見を反映できる体制はどのように確保し策定されたのか伺います。</u></p>	市長

件 名		答 弁 を 求 め る 者
	<p>(3) <u>具体的な再配置計画推進の段階に入る際は、市民・当事者の意見等をどのような手段で反映してきたか伺います。</u></p> <p>(4) <u>市民への周知についてはどのように行ってきたのか伺います。</u></p> <p>(5) <u>今までの推進段階や市民・当事者周知において課題となる事象はありましたか伺います。</u></p> <p>(6) <u>今後の公共施設再配置推進に、どのように取り組んでいくのか伺います。</u></p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 2月 26日

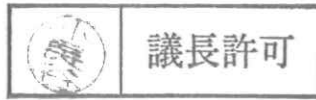
伊豆市議会議長 様

議席番号 4

議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 牧之郷地区計画の進捗状況について	<p>2019年3月29日、「牧之郷地区計画」が決定され約2年が経過いたしました。この計画の大きな特徴として行政・住民・事業者との連携型まちづくりが基本構想です。</p> <p>すでに牧之郷駅周辺では9家族の方々が新築住居での市民生活を送られています。また、主要地方道熱海大仁線沿いの住商共存地区では食品関係企業の工場建設が進み、附近では分譲区画整備が完了しています。このように地区計画は着実に構想に沿って進行していますが、今後も伊豆市の人口減少を解決するこうした官民連携のまちづくりをより推進していくためには、地区が抱えている課題の解決も併せて行なっていく必要性も感じています。そこで、以下の伊豆市の取り組みや今後の課題解決への方針を伺います。</p> <p>(1) <u>伊豆市の牧之郷地区主要事業である駅前広場整備の用地の取得状況と、その周辺の住宅地整備に繋げていくための生活道路整備の方針について伺います。</u></p> <p>(2) <u>開発により整備されつつある県道沿いの歩道は子どもたちや、お年寄りが安全に歩行できるスペースが確保されていますが地区内沿道はどのように広げていくか伺います。</u></p>	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 2月 26日

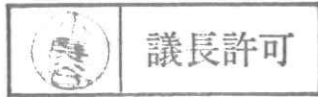
伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. コロナ禍後の社会の変化と地方創生	<p>新型コロナウイルス感染症により住民の暮らしや社会経済は大きな打撃を受けている。 今後は「新しい生活様式」を定着させるとともに、様々な危機に対応できる「しなやかで強靱なまちづくり」を進めることが求められている。</p> <p>国では「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化への集中投資と、その環境整備を進めるとしているが、本市でもデジタル化を進め、様々な分野で暮らしの利便性を高めることが必要と考える。</p> <p>①文化芸術活動やスポーツ大会など、開催を見送ることが続いているイベントだが、感染対策を講じた上で活発化していく必要があると思う。この場合、<u>人が集まる空間では、「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリなどを活用した予約システムなどが感染防止と安心感の醸成につながる。</u> <u>スマホが普及した現在、様々な催しでこれらのシステムを普及する考えは</u>いかに。</p> <p>②これまで地域のコミュニティーを中心に、高齢者・子育て家庭などの見守りや支えあいの社会を築いてきたが、<u>オンラインツールの活用も取り入れた見守り・相談事業を拡大していく考えは。</u></p> <p>③学校教育について「3密」を防ぎながら、切れ目のない学習環境を整える必要があるが、<u>オンライン学習のための端末や機器の整備、児童生徒や教員が自宅で使う ICT 環境整備の進捗は</u>いかがか。</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2.多様性認めあう社会へ、性的少数者への理解促進</p>	<p>④コロナ禍で特に大きな打撃を受けている飲食店などの事業者への支援として、給付金などの支援策とともに、長期的に市民が安心して利用できる環境整備が必要と考える。 <u>パーティションや換気装置などの設備整備に対する補助は考えられないか。</u></p> <p>⑤コロナ禍をきっかけに地方への移住機運が高まっている。当市の魅力を最大限にPRし、<u>積極的な移住者の受け入れを図るチャンスと思うが、どのように取り組むか。</u></p> <p>日本人のおよそ5～8%がLGBT等の性的少数者と言われているが、私たちの社会には「性別」は「男か女」、「恋愛対象」は「異性」が普通であり、それ以外は普通ではないとする考えが根強くあり、LGBT等の人々は自分を素直に表現できず、隠して生活している人が多い。</p> <p>LGBT等の人たちが学校や職場でセクハラを受けたり不利益な扱いを受けるなど、「生きづらい」社会を変革し、この世に生を受けたかけがえのない一人の人間として、だれもが皆人間らしく生き、幸せに暮らす権利が尊重される社会を築くため、<u>性的少数者への理解を促進するための啓発や相談体制の充実、性的少数者のカップルを公認するパートナーシップ制度導入などの取り組みを進めてはいかがか。</u></p>	<p>市長 教育長</p>



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

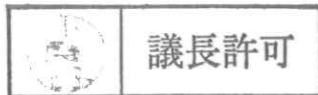
令和 3年 2月 22日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 星谷和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		
○一般質問		質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
修善寺老人憩いの家	<p>修善寺老人憩いの家入浴施設は、昭和 48 年に建設され、平成 11 年に耐震補強を実施し今日に至っております。</p> <p>この間多くの年配の方々がお風呂を通して交流し、楽しいひとときを過ごしてきました。</p> <p>近年、高齢化が進み医療・介護費が膨らみ財政の負担増にも繋がっております。また社会環境の変化等により会話の無い方、寂しい生活をされている方、そして認知症の方も大変増えております。この老人憩いの家の入浴施設は、健康を保つ福祉の増進事業でもあり重要度は増しております。しかし市は公共施設再配置基本方針に基づき廃止の方向を示しました。</p> <p>そこで以下について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>この施設を建設した目的</u> 2. <u>廃止する理由</u> 3. <u>将来の施設運営について</u> 	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和3年 2月 24日

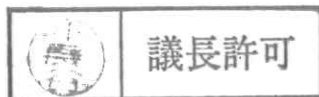
伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 生徒も教員も共に向上する教育を目指して	<p>毎年、全国の小学校・義務教育学校6年生と、中学校3年生・義務教育学校9年生で行われている「全国学力・学習状況調査」があります。子ども達の学力を把握するために、小学生は国語・算数、中学生は国語・数学・英語の教科に関する調査と、学力の背景にある生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査で構成されていると思います。伊豆市のホームページの伊豆市教育委員会からの調査結果のお知らせには、この調査結果をもとに「子ども達の学習・生活状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的としています。」と記載があり、令和元年度の調査結果の一覧が掲載されております。この表の分析の表し方ですが、◎二重丸、○まる、△白三角、▲黒三角の四段階の評価になっているのみで、詳細についての様子が分かりません。学習状況においても同様に幅広い認定になっているため、本当に生徒の本質が見えるのかが疑問であります。この従来調査方法では、個々の学力の伸びしろも確認が取れず、あくまでも、その年度の対象学年のその場の出来具合しか確認が取れないと思います。学力の平均だけを見ても、真の教育力はわからないのではないのでしょうか。また、学校は前にあげた学力(認知能力)だけでは無く、自制心や自己効力感といった「非認知能力」も伸ばす場所だと思います。人間力・学力共に、きめ細やかで、連続した指導に繋げるためには、調査方法の改善が必要ではないのでしょうか。現在は、新形</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 学校のトイレの 全個室化について	<p>式の学力向上調査方法を導入し始めている地域が少しずつ増えており、その新形式の学力向上調査の方法を用いている学校では、学力の伸びが認められているという結果がでているそうです。</p> <p>11月に開催された「伊豆市重要課題報告・意見交換会」で、市長は「伊豆市が近隣市町に唯一勝てるとしたら、それは“教育”だ」とおっしゃっておりました。現在、伊豆市は、新中学校の建設に向けて取り組んでおります。ハード面はまだ先になりますが、ソフト面の改善は、ハード面よりも速やかにできるものと考えますが、今後の伊豆市における教育の向上をいかがお考えでしょうか。</p> <p>以前から、学校のトイレに関する一般質問が幾つか提出されていましたが、皆様の質問を聞き、別の視点から質問させていただきます。昔から男子トイレは小便器と個室がありのが大半かと思われまます。休憩時間に大便をする際、個室が使用されていると友人に指摘されることを嫌がり、学校では我慢するなどの子どももいると聞いています。そこで、男子トイレも女子トイレと同様、全てを個室にしてはいかがでしょうか。</p> <p>また、男子トイレ全部を個室化することにより、今後はLGBTの方にも配慮したトイレとして、安心して使用できるようになるのではないのでしょうか。その為に、まずは新中学校のトイレ、そして、ゆくゆくは既存の学校のトイレの個室化を検討することも必要ではないのでしょうか。</p>	教育長
3. 伊豆市デジタル 図書館について	<p>沼津市でスタートした電子図書館。熱海は2018年12月に既に導入されております。伊豆市も市民の利便性や、新型コロナウイルスの流行もあり、非接触型のできるサービス向上の一つとして検討する必要があると思いますが、いかがでしょうか。</p>	教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3 年 2 月 26 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤 二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(<u>一般質問</u>) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 地域づくりについて	<p>現在の喫緊の課題はコロナ禍への速やかな対応です。ワクチンの接種が滞りなく行われ国民、市民の間に安堵感が広がれば止まっていた経済が再び動き出します。</p> <p>2～3年の間は、観光客は海外や遠方の観光地は控え、近くて安心して訪れることのできる伊豆半島を選択すると予想する観光関係者は多いはずです。</p> <p>伊豆市でなければ感じる事ができない、食べることができない、体験することができない、伊豆市ブランドを確立し、半年後、1年後を見据えた対応が必要と考えますが、まずは、今、困窮されている市民のみなさまに一刻も早く執行部が示されたコロナ対策を実行し、政策の効果が出るよう一丸となることが重要だと考えます。</p> <p>さて、前回、私は地域の実情を把握し、持続可能な地域づくりのため、将来に向けての政策について実例をあげながら質問をさせていただきました。</p> <p>コロナ禍により、都会に住む人たちが自分の人生は、都会のコンクリートジャングルの中で暮らすことではなく、温泉や山、川、海など日本人の心の故郷、まさに伊豆市のような環境の場所で暮らすこと、また、リモートワークが可能になったことに加え、お金を沢山稼ぐことや出世して偉くなることではなく、人の役に立つことが自分の生きがいだという考えの広まりから、ここ最近、この伊豆市への移住を希望する人たちの声を多く聞くようになりました。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>田舎で生活し起業しようとする人々にチャンスを与えられる場所でありたいと考えています。</p> <p>そんな動きと時期を同じくして地元伊豆市では、大人の口から「どうせだめだよ」・「働くところもないから外で暮らしな」なんて言葉も聞こえるようになりました。</p> <p>積極的な企画に対して「どうせだめだよ」無理と思われることは「挑戦に値する」という言葉に変換できないだろうか、「働くところもないから外で暮らしな」は、「ここ伊豆市に暮らす私たち大人が次世代のために働く場所を作ることが大きな役割」と考えられないだろうか。</p> <p>企業誘致も大変重要なことだと考えます。それにもまして大切なことは、この伊豆市に今あるもので地域住民が積極的に係る産業を興すことだと考えます。地域に稼ぐシステムができれば、地域経済が動き出し、そこに雇用が生まれ人口減少対策に繋がっていきます。</p> <p>地元の人々の間では価値がないと思われていたものでも見方さえ変えれば価値のあるものになる。田舎の衰退の代名詞、荒廃農地も活用方法でブランド食材を育てる農地に変わり、捨てられていた柑橘だっておしゃれな加工品になる。伊豆市は宝の山なのです。</p> <p>そういった意味からも、視点を変えてくれる移住者を積極的に受け入れ、数年後人口減少により自助、共助が滞り、支えきれなくなった地域のコミュニティーを移住者とともに支えあう新しい地域のあり方が見えてくると考えています。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>質問します。</p> <p>(1) <u>前回の地域づくりの質問に対して、組織の在り方についても検討していくとのお答えをいただきました。その後、地域の声を聞くため、また、積極的な地域づくりや人口減少対策のためにどのような組織改編を行ったか地域づくりの部分を中心に伺います。</u></p> <p>(2) <u>同じく地域づくりの部分を中心に伺います。組織改編は、どのような目的で何に重点を置き何を期待したのですか。</u></p> <p>(3) <u>各地区の区長様から提出される要望事項は、まさに地域の声といえます。この要望事項に丁寧に伝えていくことはたいへん重要なことだと考えます。要望事項の対応についても組織改編により、どのように変わりますか。</u></p> <p>(4) <u>コロナ禍で会議等はズームなどの SNS による会議の手法が多く取り入れられるようになりました。これからの地域づくりにおいて必要だと考えていますので、伊豆市においてインターネット(ワイファイ)が使える、外部団体や個人に貸し出し可能な会議室はありますか。</u></p> <p>(5) <u>コロナ禍の影響から一度は外で就職し伊豆市の魅力に引かれ U ターン、I ターンなどで伊豆市で働きたいと考える皆さんも増えてくると思われます。伊豆市において一番大きな雇用先である市役所には現在どれくらいの対象者がいますか。</u></p> <p>(6) <u>SDGs 未来都市宣言についての方向性をお伺いします。</u></p>	

